

# 2018年12月期 第3四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

Your Dreams, Our Challenge

■ 2018年12月期 第3四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.16
■ 2018年 通期業績の見通し	P.28
付属資料	P.33

# 2018年12月期 第3四半期業績

# 1. 業績のポイントと主要項目

## 連結累計期間

売上高	11,262億円	前年同期比	622 億円( 5.8% )の増収
営業利益	870億円	同	46 億円( 5.5% )の増益
税引前利益	910億円	同	103 億円( 12.8% )の増益
親会社の所有者に帰属する			
四半期純利益	649億円	同	43 億円( 7.1% )の増益

- ガラスおよび電子セグメントは減益も、  
化学品セグメントの増益が上回る
- 各事業の出荷数量増などにより増収増益も、  
原燃材料価格上昇などにより増益幅は縮小

# 連結純損益計算書

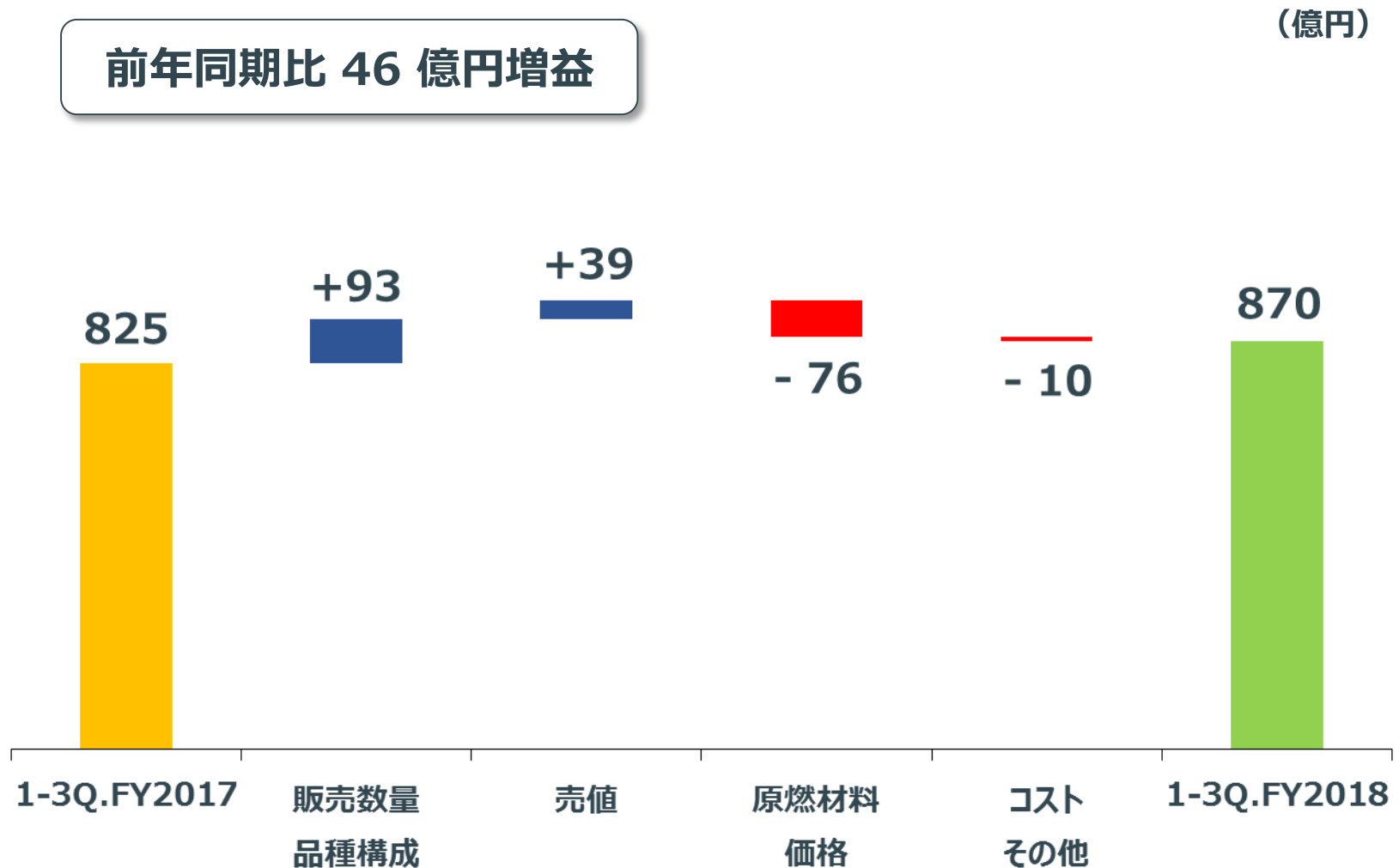
	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
売上高	3,740	<b>3,807</b>	+ 67 *	10,640	<b>11,262</b>	+ 622 *	
営業利益	332	<b>267</b>	- 64	825	<b>870</b>	+ 46	
その他収支	-3	<b>1</b>		-15	<b>34</b>		
事業利益	329	<b>268</b>	- 61	809	<b>904</b>	+ 95	
金融収支	-11	<b>-7</b>		-2	<b>6</b>		
税引前利益	318	<b>261</b>	- 57	807	<b>910</b>	+ 103	
法人所得税費用	-61	<b>-68</b>		-127	<b>-187</b>		
四半期純利益	257	<b>193</b>	- 64	680	<b>724</b>	+ 44	
親会社の所有者に 帰属する四半期純利益	231	<b>168</b>	- 63	606	<b>649</b>	+ 43	
非支配持分に 帰属する四半期純利益	26	<b>25</b>		74	<b>75</b>		
為替レート (期中平均)	JPY/USD	111.03	<b>111.46</b>	111.92	<b>109.61</b>		
	JPY/EUR	130.38	<b>129.63</b>	124.55	<b>130.97</b>		
原油	\$/BBL (Dubai)	50.5	<b>74.3</b>	51.1	<b>70.1</b>		

\* うち、為替差影響は、3Q 売上高 -16億円、1-3Q累計売上高+114億円

# セグメント別業績 前年同期比較

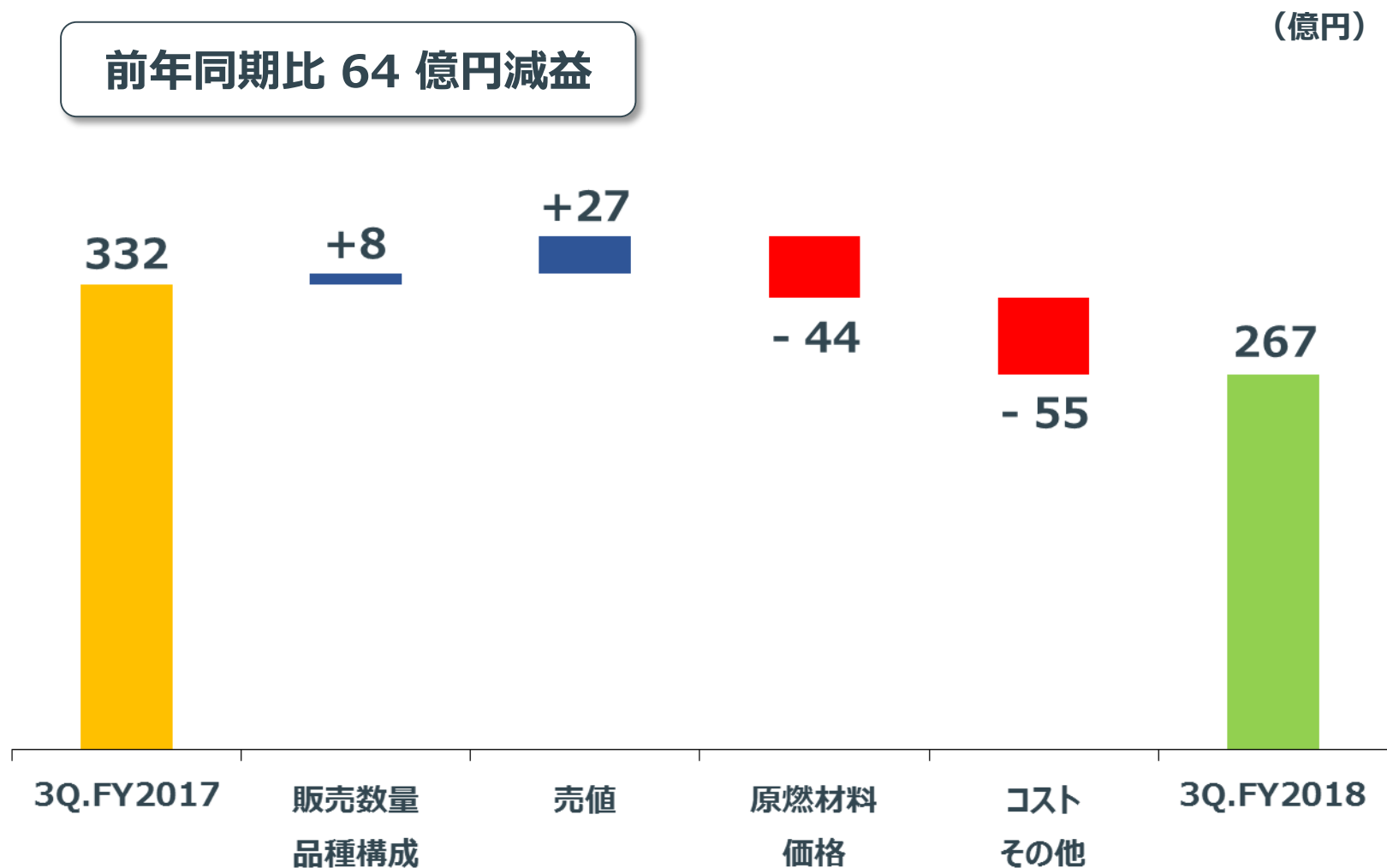
	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
<b>売上高</b>	3,740	<b>3,807</b>	+ 67	10,640	<b>11,262</b>	+ 622	
ガラス	1,837	<b>1,839</b>	+ 2	5,408	<b>5,655</b>	+ 248	
電子	681	<b>651</b>	- 30	1,905	<b>1,850</b>	- 55	
化学品	1,157	<b>1,252</b>	+ 95	3,124	<b>3,549</b>	+ 425	
セラミックス・その他	187	<b>190</b>	+ 3	525	<b>588</b>	+ 64	
消去	-123	<b>-125</b>	- 2	-322	<b>-380</b>	- 59	
<b>営業利益</b>	332	<b>267</b>	- 64	825	<b>870</b>	+ 46	
ガラス	79	<b>28</b>	- 50	218	<b>181</b>	- 37	
電子	77	<b>62</b>	- 15	168	<b>162</b>	- 6	
化学品	168	<b>166</b>	- 1	427	<b>503</b>	+ 75	
セラミックス・その他	8	<b>11</b>	+ 3	9	<b>24</b>	+ 15	
消去	0	<b>0</b>	- 0	1	<b>0</b>	- 1	

# 営業利益増減要因分析(1-3Q.FY2018 vs. 1-3Q.FY2017)





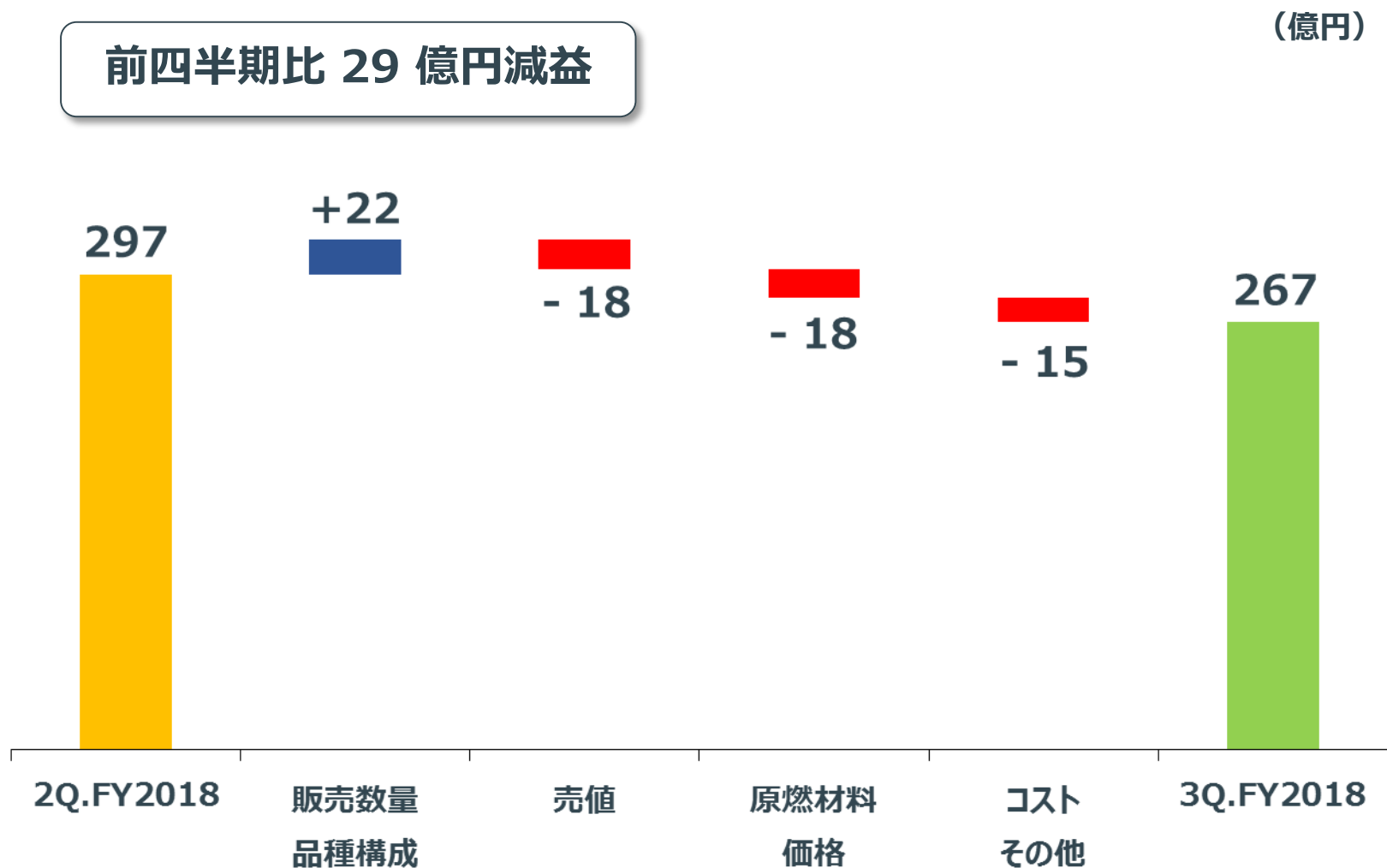
# 営業利益増減要因分析(3Q.FY2018 vs. 3Q.FY2017)



# セグメント別業績 前四半期比較

	2Q.FY2018	3Q.FY2018	増減	増減%
				(億円)
<b>売上高</b>	3,730	<b>3,807</b>	+ 76	+2.0%
ガラス	1,903	<b>1,839</b>	- 64	-3.4%
電子	610	<b>651</b>	+ 40	+6.6%
化学品	1,150	<b>1,252</b>	+ 102	+8.9%
セラミックス・その他	215	<b>190</b>	- 25	
消去	-148	<b>-125</b>	+ 23	
<b>営業利益</b>	297	<b>267</b>	- 29	-9.9%
ガラス	77	<b>28</b>	- 48	-63.2%
電子	43	<b>62</b>	+ 19	+44.8%
化学品	167	<b>166</b>	- 1	-0.6%
セラミックス・その他	11	<b>11</b>	0	
消去	0	<b>0</b>	0	

# 営業利益増減要因分析(3Q.FY2018 vs. 2Q.FY2018)



(億円)

	2017/12	2018/9	増減	
現金及び現金同等物	1,264	<b>1,398</b>	+ 134	
棚卸資産	2,617	<b>2,763</b>	+ 146	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	11,974	<b>12,412</b>	+ 438	← うち、為替差影響 ▲242
その他	6,430	<b>6,356</b>	- 74	
<b>資産合計</b>	22,286	<b>22,930</b>	+ 644	← うち、為替差影響 ▲387
有利子負債	4,891	<b>5,520</b>	+ 629	
その他	4,496	<b>4,498</b>	+ 2	
<b>負債の部</b>	9,387	<b>10,018</b>	+ 632	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,840	<b>11,776</b>	- 64	
非支配持分	1,059	<b>1,135</b>	+ 76	
<b>資本の部</b>	12,899	<b>12,911</b>	+ 12	
<b>負債及び資本合計</b>	22,286	<b>22,930</b>	+ 644	
<b>D/E比率</b>	0.38	<b>0.43</b>		

# 連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	3Q		1-3Q累計	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
税引前利益	318	<b>261</b>	807	<b>910</b>
減価償却費及び償却費	332	<b>309</b>	958	<b>919</b>
運転資金増減	-127	<b>-107</b>	-267	<b>-281</b>
その他	-119	<b>-51</b>	-198	<b>-332</b>
<b>営業活動によるCF</b>	404	<b>412</b>	1,301	<b>1,217</b>
<b>投資活動によるCF</b>	-341	<b>-410</b>	-1,564	<b>-1,193</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	64	<b>2</b>	-263	<b>24</b>
有利子負債増減	91	<b>363</b>	161	<b>572</b>
支払配当	-115	<b>-124</b>	-219	<b>-249</b>
その他	-3	<b>-160</b>	-129	<b>-171</b>
<b>財務活動によるCF</b>	-27	<b>79</b>	-187	<b>152</b>
<b>現金等に係る換算差額</b>	17	<b>18</b>	12	<b>-42</b>
<b>現金等の増加額</b>	54	<b>99</b>	-438	<b>134</b>

	3Q		1-3Q累計 (億円)	
	FY2017	FY2018	FY2017	FY2018
設備投資額	355	543	1,017	1,723
減価償却費	332	309	958	919
研究開発費	110	121	316	338

# 為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1-3Q.FY2018	<b>11,262</b>	<b>5,655</b>	<b>1,850</b>	<b>3,549</b>
前年同期比	+ 622	+ 248	- 55	+ 425
[以下影響を除く前期比]	+ 389	+ 210	- 62	+ 237
為替換算の影響	+ 113	+ 86	+ 7	+ 20
連結範囲変更の影響	+ 119	- 49	-	+ 168

\*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

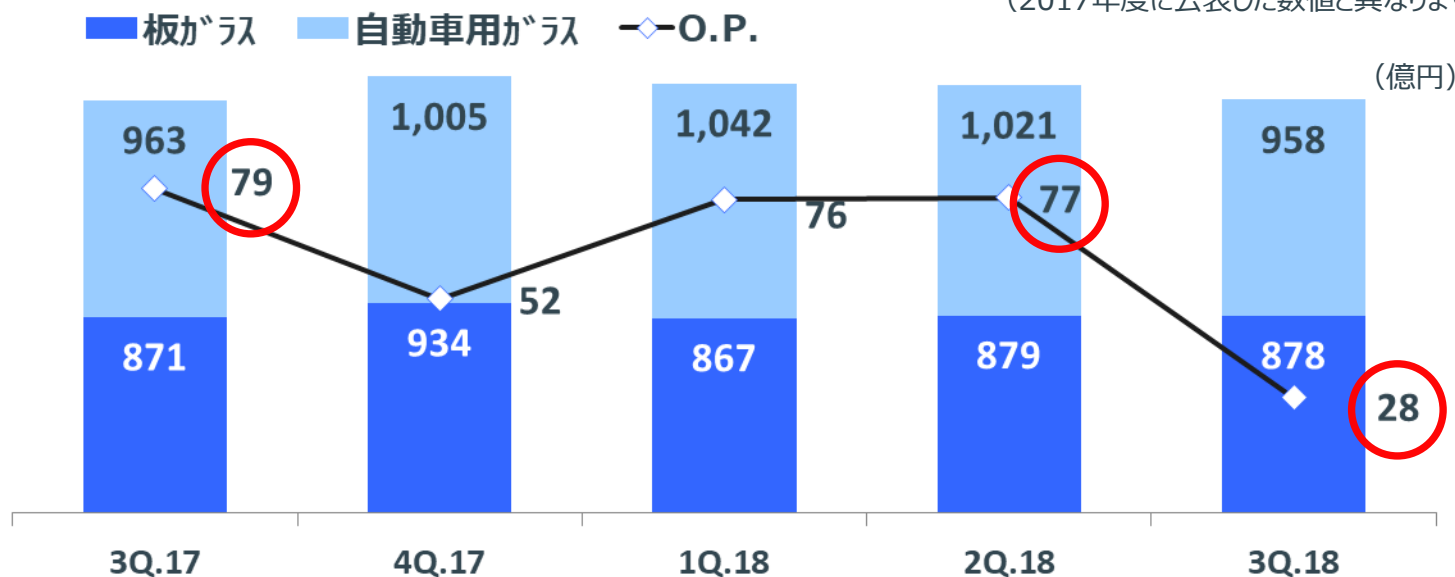
## 2. セグメント別・地域別の状況



# ガラス セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
<b>売上高</b>	1,837	<b>1,839</b>	+ 2	5,408	<b>5,655</b>	+ 248	
板ガラス	871	<b>878</b>	+ 7	2,545	<b>2,624</b>	+ 79	
自動車用ガラス (セグメント間)	963	<b>958</b>	- 5	2,855	<b>3,022</b>	+ 167	
	3	<b>3</b>		7	<b>9</b>		
<b>営業利益</b>	79	<b>28</b>	- 50	218	<b>181</b>	- 37	

\* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。  
(2017年度に公表した数値と異なります)



## 【前年累計比】

〔売上高〕 増収

板ガラス

- 欧州で出荷が堅調、ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加

自動車用ガラス

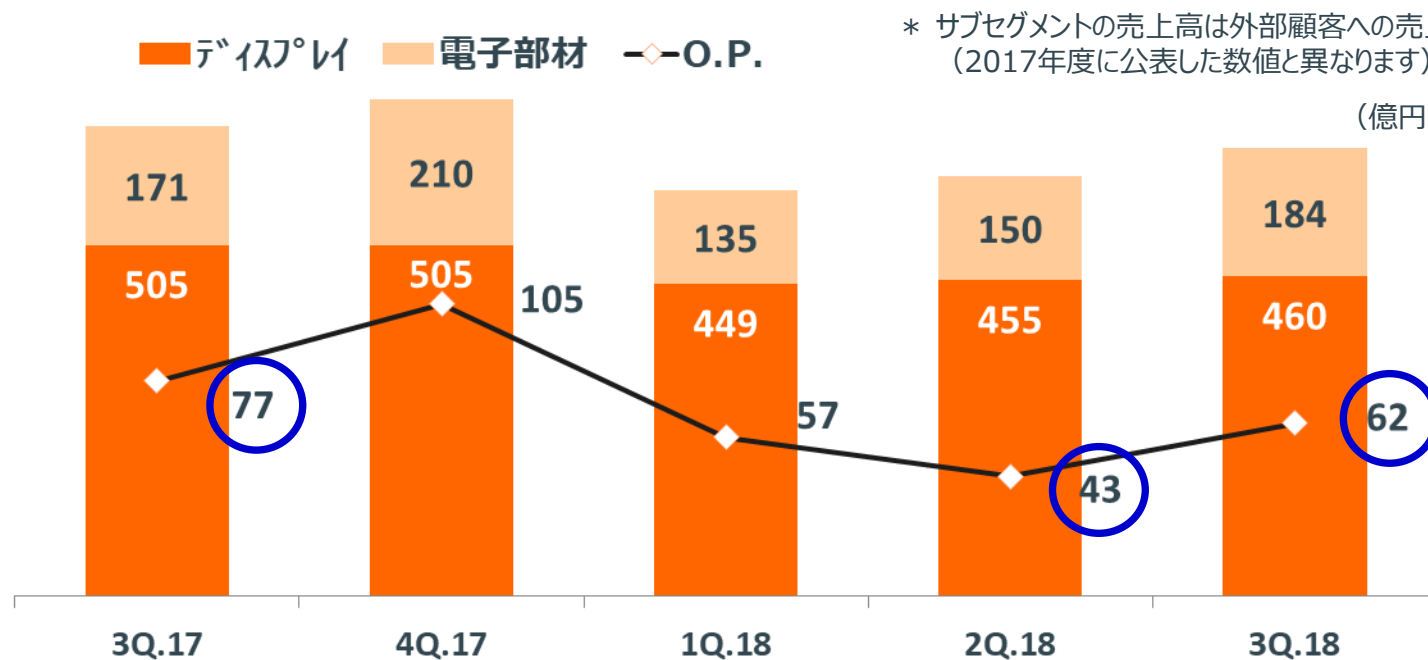
- 全地域で出荷が堅調、ユーロ高の影響で円ベースの売上高が増加

〔営業利益〕 減益

- 重油や天然ガスなど世界的な原燃材料価格上昇に起因して  
製造原価や輸送費が増加
- 自動車用ガラス北米市場における販売構成の変化による収益性悪化

# 電子 セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
<b>売上高</b>	681	<b>651</b>	- 30	1,905	<b>1,850</b>	- 55	
ディスプレイ	505	<b>460</b>	- 45	1,451	<b>1,364</b>	- 87	
電子部材	171	<b>184</b>	+ 13	441	<b>470</b>	+ 29	
(セグメント間)	5	<b>6</b>		13	<b>16</b>		
<b>営業利益</b>	77	<b>62</b>	- 15	168	<b>162</b>	- 6	



\* サブセグメントの売上高は外部顧客への売上高です。  
(2017年度に公表した数値と異なります)

## 【前年累計比】

〔売上高〕 減収

ディスプレイ

-液晶用ガラス基板

- 販売数量は前年累計比横ばい、販売価格は下落幅縮小傾向

-ディスプレイ用特殊ガラス

- 第3四半期の販売数量は上向きも、前年累計比では引き続き弱い

-車載ディスプレイ用カバーガラス

- 欧州向け出荷が引き続き堅調

電子部材

- IoT/IT/外周用部材の出荷が減少も、半導体関連製品の出荷が増加

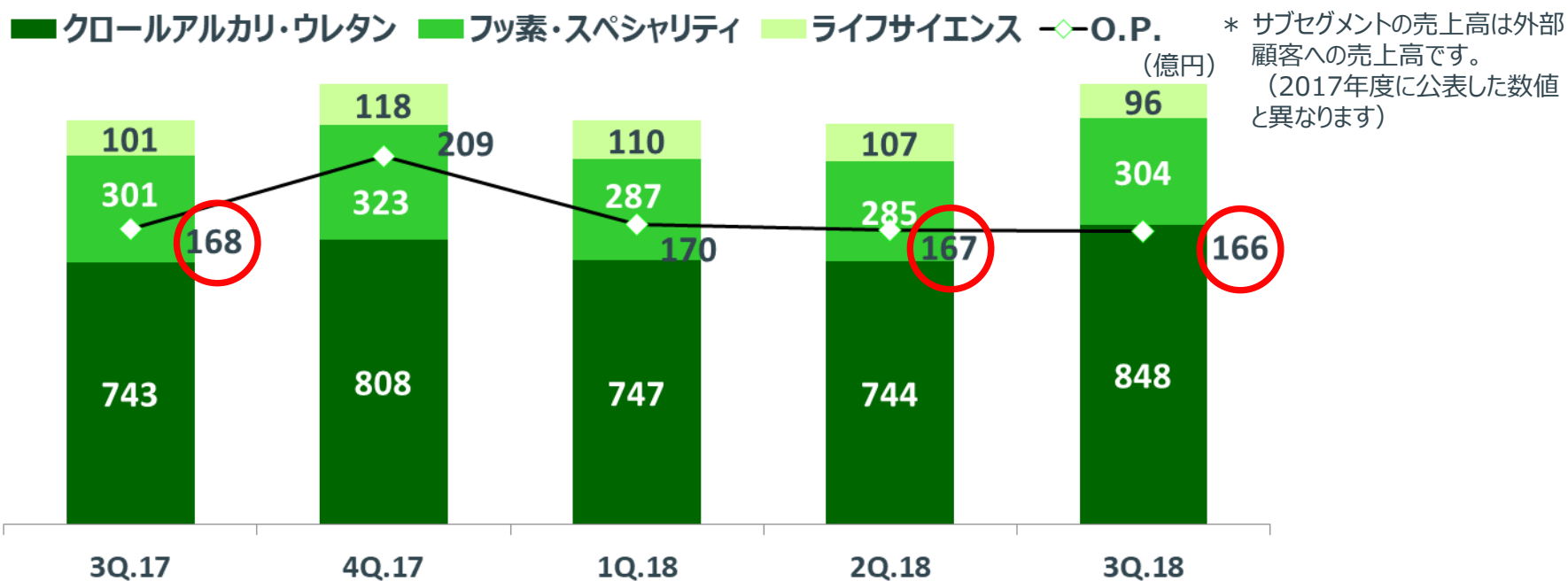
〔営業利益〕 減益

- 半導体関連製品は引き続き好調

- ディスプレイ用特殊ガラスの販売不振と一部製品の在庫処分により損益悪化

# 化学品 セグメント (1)

	3Q			1-3Q累計		
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減
<b>売上高</b>	1,157	<b>1,252</b>	+ 95	3,124	<b>3,549</b>	+ 425
クロールアルカリ・ウレタン	743	<b>848</b>	+ 105	1,993	<b>2,339</b>	+ 347
フッ素・スペシャリティ	301	<b>304</b>	+ 4	862	<b>877</b>	+ 15
ライフサイエンス	101	<b>96</b>	- 5	248	<b>313</b>	+ 65
(セグメント間)	12	<b>3</b>		21	<b>19</b>	
<b>営業利益</b>	168	<b>166</b>	- 1	427	<b>503</b>	+ 75



## 【前年累計比】

〔売上高〕 増収

クローラルカリ・ウレタン

- 国内および東南アジアでの苛性ソーダの販売価格が上昇
- 2017年3月から連結したビニタイ社のフル寄与

フッ素・スペシャリティ

- 半導体関連製品向けのフッ素樹脂をはじめとする  
フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

ライフサイエンス

- 2017年2月から連結したCMCバイオロジックス社のフル寄与
- バイオサイエンス事業が順調に拡大

## 【前年累計比】

〔営業利益〕 増益

- 2017年3月から連結したビニタイ社のフル寄与
- クローラルカリ製品のマージン増加
- フッ素製品の販売価格上昇
- 2017年2月から連結したCMCバイオロジックス社のフル寄与

# 地域別業績 前年同期比較

	3Q			1-3Q累計			(億円)
	FY2017	FY2018	増減	FY2017	FY2018	増減	
<b>売上高</b>	3,740	<b>3,807</b>	+ 67	10,640	<b>11,262</b>	+ 622	
日本・アジア	2,499	<b>2,572</b>	+ 73	7,031	<b>7,366</b>	+ 335	
アメリカ	422	<b>396</b>	- 26	1,189	<b>1,232</b>	+ 43	
ヨーロッパ	819	<b>839</b>	+ 20	2,419	<b>2,663</b>	+ 244	
<b>営業利益</b>	332	<b>267</b>	- 64	825	<b>870</b>	+ 46	
日本・アジア	380	<b>347</b>	- 33	945	<b>995</b>	+ 49	
アメリカ	10	<b>13</b>	+ 3	36	<b>46</b>	+ 10	
ヨーロッパ	29	<b>27</b>	- 2	91	<b>128</b>	+ 37	
地域共通費用	-88	<b>-120</b>	- 32	-248	<b>-298</b>	- 51	

\* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。



# 地域別業績 前四半期比較

	2Q.FY2018	3Q.FY2018	増減	増減%
				(億円)
				増減%
<b>売上高</b>	3,730	<b>3,807</b>	+ 76	+2.0%
日本・アジア	2,391	<b>2,572</b>	+ 181	+7.6%
アメリカ	414	<b>396</b>	- 18	-4.3%
ヨーロッパ	925	<b>839</b>	- 87	-9.4%
<b>営業利益</b>	297	<b>267</b>	- 29	-9.9%
日本・アジア	320	<b>347</b>	+ 27	+8.6%
アメリカ	17	<b>13</b>	- 4	-23.1%
ヨーロッパ	57	<b>27</b>	- 30	-53.5%
地域共通費用	-97	<b>-120</b>	- 22	-

\* 外部顧客向け売上高の内訳表示とし、併せて営業利益を調整していますので、17年度は前年度の公表数値と異なります。

# 売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメン ト間	合計	
ガラス	板ガラス	<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>836</b>	<b>340</b>	<b>1,449</b>	-	-
		1-3Q.FY2017	878	347	1,320	-	-
	自動車ガラス	<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>1,511</b>	<b>558</b>	<b>954</b>	-	-
		1-3Q.FY2017	1,415	557	883	-	-
		<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>2,346</b>	<b>897</b>	<b>2,403</b>	<b>9</b>	<b>5,655</b>
		1-3Q.FY2017	2,293	904	2,204	7	5,408
電子		<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>1,709</b>	<b>93</b>	<b>33</b>	<b>16</b>	<b>1,850</b>
		1-3Q.FY2017	1,790	73	29	13	1,905
化学品		<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>3,059</b>	<b>242</b>	<b>228</b>	<b>19</b>	<b>3,549</b>
		1-3Q.FY2017	2,703	213	187	21	3,124
セラミックス・その他		<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>252</b>	-	-	<b>337</b>	<b>588</b>
		1-3Q.FY2017	245	-	-	280	525
消去		<b>1-3Q.FY2018</b>	-	-	-	<b>-380</b>	<b>-380</b>
		1-3Q.FY2017	-	-	-	-322	-322
合計		<b>1-3Q.FY2018</b>	<b>7,366</b>	<b>1,232</b>	<b>2,663</b>	-	<b>11,262</b>
		1-3Q.FY2017	7,031	1,189	2,419	-	10,640

\* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

# 売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメン ト間	合計	
ガラス	板ガラス	<b>3Q.FY2018</b>	<b>290</b>	<b>111</b>	<b>477</b>	-	-
		3Q.FY2017	295	129	446	-	-
	自動車ガラス	<b>3Q.FY2018</b>	<b>499</b>	<b>177</b>	<b>282</b>	-	-
		3Q.FY2017	488	185	290	-	-
		<b>3Q.FY2018</b>	<b>790</b>	<b>287</b>	<b>759</b>	<b>3</b>	<b>1,839</b>
		3Q.FY2017	783	315	736	3	1,837
電子	<b>3Q.FY2018</b>	<b>603</b>	<b>31</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>651</b>	
	3Q.FY2017	638	27	11	5	681	
化学品	<b>3Q.FY2018</b>	<b>1,102</b>	<b>78</b>	<b>69</b>	<b>3</b>	<b>1,252</b>	
	3Q.FY2017	993	80	72	12	1,157	
セラミックス・その他	<b>3Q.FY2018</b>	<b>77</b>	-	-	<b>113</b>	<b>190</b>	
	3Q.FY2017	<b>84</b>	-	-	103	187	
消去	<b>3Q.FY2018</b>	-	-	-	<b>-125</b>	<b>-125</b>	
	3Q.FY2017	-	-	-	-123	-123	
合計	<b>3Q.FY2018</b>	<b>2,572</b>	<b>396</b>	<b>839</b>	-	<b>3,807</b>	
	3Q.FY2017	2,499	422	819	-	3,740	

\* 17年の地域別売上高を外部顧客向け売上高の内訳に調整していますので前年度の公表数値と異なります。

# 2018年 通期業績の見通し

# 2018年 通期業績見通しの主要項目

## 連結累計期間

(億円)

	FY2017	FY2018 予想	増減	増減%	FY2018 7/31予想	増減
売上高	14,635	<b>15,200</b>	+565	+3.9%	15,500	-300
営業利益	1,196	<b>1,200</b>	+4	+0.3%	1,350	-150
税引前利益	1,144	<b>1,150</b>	+6	+0.5%	1,230	-80
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	692	<b>770</b>	+78	+11.3%	800	-30
一株当たり配当金 (円) *1	105	<b>110</b>				
営業利益率	8.2%	<b>7.9%</b>				
ROE	6.1%	<b>6.5%</b>				
為替レート(期中平均)	JPY/USD	112.19	<b>110.0</b>			
	JPY/EUR	126.67	<b>130.8</b>			
原油	\$/BBL(Dubai)	53.2	<b>72.6</b>			

\*1 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*2 FY2018予想のROEは、2018年9月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

\*3 FY2018.4Qの前提は130.0 JPY/EURです。

\*4 FY2018.4Qの前提は80.0 \$/BBL(Dubai)です。

## 【第4四半期見通し（第3四半期比較）】

### 〔ガラス〕

- 板ガラス：需要期に入り、日本・アジア、欧州で出荷が増加
- 自動車用ガラス：回復見込も通商問題を注視
- 燃料価格は横ばいを想定

### 〔電子〕

- 液晶用ガラス基板：販売数量は横ばい、販売下落幅はよりマイルドに
- ディスプレイ用特殊ガラス：出荷数量増を見込むも一部製品の在庫処分を計画
- 車載ディスプレイ用カバーガラス：出荷数量は引き続き堅調に推移
- 電子部材：IoT/エレクトロニクス用部材の出荷が引き続き回復基調

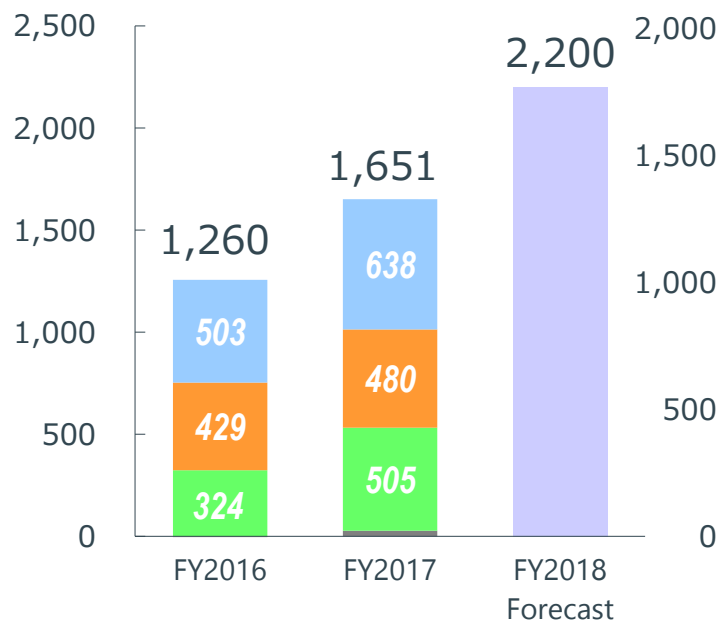
## 【第4四半期見通し（第3四半期比較）】

〔化学品〕

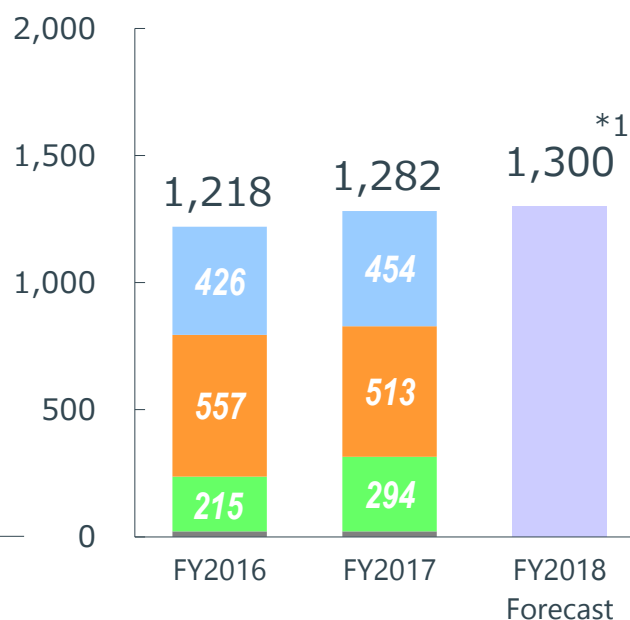
- クロールアルカリ・ウレタン：出荷数量、売値とも横ばいを見込む
- フッ素・スペシャリティ：引き続き堅調に推移
- ライフサイエンス：バイオサイエンス事業を中心に売上増加

(億円)

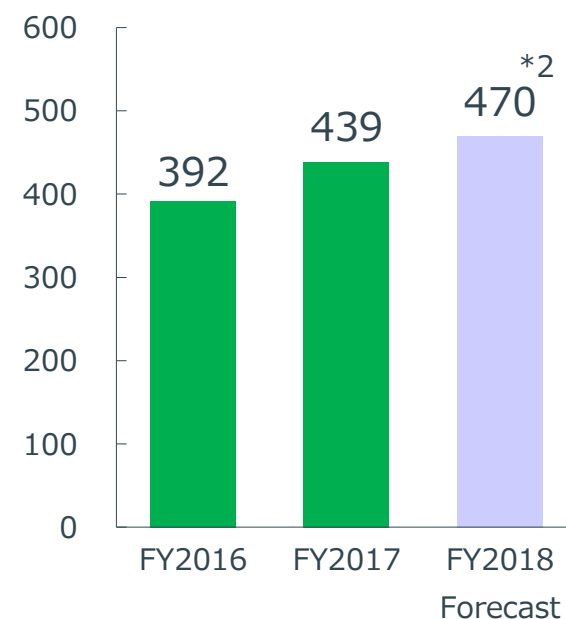
## 設備投資



## 減価償却費



## 研究開発費



■ ガラス     
 ■ 電子     
 ■ 化学品     
 ■ セラミックス・その他

\*1 FY2018 7/31予想金額 1350億円 より変更

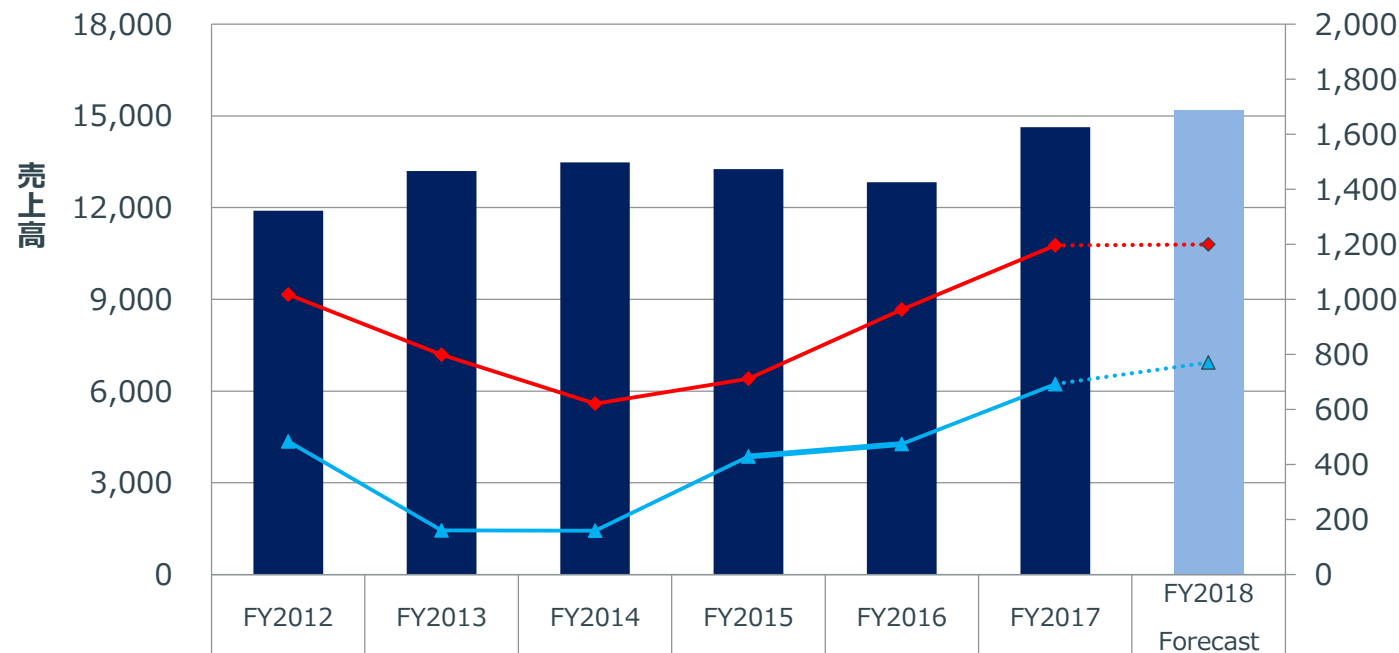
\*2 FY2018 7/31予想金額 450億円 より変更



# 付属資料

# 通期業績の推移

(億円)



営業利益・親会社の所有者に帰属する当期純利益

■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,200
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,200
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	770
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥110

\*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。  
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS					
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12
自己資本当期純利益率(ROE) <sup>*1</sup>	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%
総資産営業利益率(ROA) <sup>*2</sup>	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42
一株当たり当期純利益 (EPS) <sup>*3</sup>	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12
EBITDA <sup>*4</sup>	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

\*2 営業利益/総資産 (期中平均)

\*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2017					FY2018			
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	年間
円/ドル	期中平均	113.64	111.09	111.03	112.98	112.19	108.30	109.07	111.46	110.0
	期末	112.19	112.00	112.73	113.00	113.00	106.24	110.54	113.57	
円/ユーロ	期中平均	121.08	122.19	130.38	133.01	126.67	133.22	130.06	129.63	130.8
	期末	119.79	127.97	132.85	134.94	134.94	130.52	127.91	132.14	

# 2018年 主要発表事項（1）

発表日	内容
1月9日	バイオサイエンス事業の一体運営を開始
1月16日	深紫外LED用石英レンズを開発
2月5日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
2月5日	EUV露光用フォトマスク blanks 供給体制を大幅増強
3月6日	AGC Biologics社のバイオ医薬品培養能力を増強
3月22日	次世代パワー半導体材料のノベルクリスタルテクノロジー社に出資
4月6日	ミャンマーにマーケティング拠点を開設
6月6日	ブランドステートメント “Your Dreams, Our Challenge” を策定
7月12日	GMP対応合成医薬品中間体・原薬の製造能力を10倍に増強
7月25日	5Gコネクテッドカーに向けた「車両ガラス設置型アンテナ」による5G通信に成功
7月26日	米国Park Electrochemical社のエレクトロニクス事業を買収
7月31日	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ
8月30日	5G高速高周波プリント基板用材料フッ素樹脂Fluon+ EA-2000の生産能力を大幅増強

# 2018年 主要発表事項（2）

発表日	内容
9月4日	耐久性5 倍の無補強高性能電解質薄膜を開発
9月5日	インドネシアでPVCの生産能力を増強
9月11日	AGCと乃村工藝社が協業に合意
9月18日	タイでクロール・アルカリ事業の能力増強を検討開始
9月20日	動物細胞を用いたcGMP対応バイオ医薬品開発・製造受託設備を千葉工場に新設
9月27日	優れた断熱・防音性能などを備え、お住まいの防犯と快適性を向上する「SECOM あんしんうち窓」を発売
10月2日	環境対応型新フッ素系溶剤AMOLEA®AS-300の本格販売を開始
10月15日	AGCとパナソニック、欧州市場向けに業界最高クラスの真空断熱ガラスを共同開発

## 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

**AGC**

Your Dreams, Our Challenge

**END**